

あそびばがおー	2
6月定例会の概要	4
議決議案・議案賛否	5
一般質問（11人登壇）	6
議案審議・請願	12
議会改革特別委員会	13
（アンケートにご協力ください）	
常任委員会活動報告	13
林野火災市消防団活動	14
学校給食無償化	15
産後ケア事業	16



かまいし

市議会だより

あそびばがおー

あそびばがー を訪ねてきました



ゴールデンウィークの6日間で約 2300 人が利用した室内遊び場「あそびばがー」。
利用者や担当者に話を聞き、その魅力や今後の課題取材しました。

4月にイオンタウン釜石内にオープンした室内遊び場「あそびばがー」を訪れ、利用者や市担当者から話を聞きました。

利用者からは、「雨の日でも遊べる」「無料で利用できる」「買い物のついでに立ち寄れる」と好評でした。三重県四日市市から帰省した親子は「近くにも遊び場はあるが、これほど広い施設はない」と話していました。また、大槌町のお母さんは、山林火災で煙のため外遊びができなかつ

た経験を振り返り、「こうした施設があるのは助かる」と話していました。

一方で、「見守りや声かけをするスタッフがいると安心」という意見もありました。市では、子育て世代の交流の場としての活用も目指しており、今後は子育て相談会や読み聞かせ会なども検討しています。利用者の声を生かしながら、より安心して利用できる施設づくりが期待されます。

ここ最近で屋内・室内の遊び場が議題になった例

年度	内容	種別
令和5年	「公園遊具の老朽化」「遊び場不足」が議論される	子ども・子育て会議
令和6年	「雨の日でも遊べる室内施設が欲しい」「屋内アスレチックが欲しい」という要望が多数	子ども・子育て支援事業計画アンケート
令和7年	「室内の遊び場整備事業」が正式議題となる 整備費 3300 万円、運営費約 460 万円の説明が行われる	子ども・子育て会議
令和7年	こども園の子育て支援センター事業について	3月定例会
令和7年	室内の遊び場整備事業を計上	3月定例会
令和7年	室内の遊び場を議論	6月定例会
令和7年	室内の遊び場を議論	9月定例会
令和8年	「釜石市室内の遊び場条例」が提案・可決	3月定例会

「あそびばがー」で遊んでいたみなさんの声

順位	利用してよかった点(要約)	主な声
1	天候に左右されず遊べる	雨・雪・暑さ・寒さの日でも利用できる
2	無料で利用できる	「無料なのに充実」「ありがたい」
3	広くてのびのび遊べる	子どもが自由に体を動かせる
4	体を動かせる遊具がある	アスレチックやボルダリングが好評
5	安全に遊べる	柔らかい床材でケガの心配が少ない
6	遊具が充実している	さまざまな遊び方ができる
7	イオン内で便利	買い物ついでに利用できる
8	年齢に応じた遊び方ができる	小さい子向けスペースがある
9	清潔感がある	新しくてきれい
10	地域に少ない貴重な施設	「なくならないでほしい」という声も
改善点・要望(要約)		主な声
1	靴箱・下駄箱の設置	靴が散らかっている
2	幼児と小学生の安全対策	走り回る子との接触が心配
3	ルールの周知徹底	保護者への注意喚起が必要
4	年齢別エリアの明確化	ゾーニングをもっとわかりやすく
5	スタッフによる見守り・声かけ	危険な遊び方への対応
6	荷物置き場・ロッカー設置	貴重品管理への不安
7	ベンチ・休憩スペース増設	保護者が見守りやすい環境
8	遊具の安全対策	手すり点検、保護材設置など
9	遊具の充実	ボルダリング拡張、ふわふわ遊具など
10	利用環境の改善	清掃、夜間利用、保護者向け設備など

こども家庭センターがゴールデンウィーク中に「あそびばがー」で取ったアンケートを基に作成



日本製鉄釜石シーウェイブスのベンジャミン・ニーニ選手のご家族。2020年にニュージーランドからチームに参加。妻のモンジェリックさんは釜石での生活もすっかり慣れ、「新しい遊び場ができてうれしい」そうです。



三重県四日市市から帰省していた親子。「四日市にも室内の遊び場はあるけれど、こんなに広い施設はないです」と話していました。



陸前高田市からきた親子は「平日は空いているから好きな遊びができます」とリピーターに。一回で2～3時間は遊んでいるそうです。



「本のまちプロジェクト」とも連動している絵本。運動が苦手な子どもも絵本で遊べるように。



床のクッション性の良さによって、転んでも安心。年上の子が年下の子たちの面倒を見るような、微笑ましいシーンもよくあります。



レジのおもちゃは子どもたちに大人気。おままごとでも、「PayPayでおねがいします」というデジタルネイティブな子どもたち。

6月定例会の概要

9月24日

待ち望まれる新庁舎開庁 市民サービスの向上が実現

6月定例会は、6月12日から26日までの15日間の会期で行われました。招集日には市長報告があり、その後、市から提出された議案等について提案理由の説明が行われました。一般質問では11名の議員が登壇し、防災行政や新市庁舎建設など多岐にわたる質問が行われました。

今定例会に提出された市長提議案18件については、全て原案のとおり承認、可決しました。また、請願の採択に伴う委員会提議案1件も原案どおり可決しています。

6月定例会一般質問では、防災行政について4人の議員が取り上げたほか、新市庁舎移転後の行政サービス、職員の働き方改革などについて質問がありました。さらに、妊産婦健診のオンライン診療の実施や産後ケア事業の拡充についての質問も出され、少子化が進行する中での子育て環境の向上が求められました。

当局からは、新市庁舎でのワンストップ化による市民サービス向上の実現や、オンライン診療を岩手県に継続して要望していく旨の答弁がありました。また、物価高騰対策については、関係機関と一体となって実効性のある支援に取り組むとの考えが示されました。

市長から提出された議案の主な内容は、小学校の統合に伴い、白山小学校と栗林小学校を令和9年4月1日に廃止する条例改正や、新市庁舎の電気設備工事に伴う避雷設備や無停電電源装置、災害時の通信設備を追加するため、約981万円を増額する契約変更、市役所移転に伴い福祉事務所や教育研究所、行政事務組合などの所在地を新庁舎（天神町）へ変更する条例改正などです。

市長・副市長の給料減額

最終日には、市職員の不祥事を起因とする、市長と副市長の給料を減額する条例改正を審議しました。管理監督責任として、市長は3カ月間給与の10%、副市長は3カ月間給与の5%を減額するという内容です。これに対して議員からは、「公務員である職員は市民の公僕であり、職員の不祥事に対し、管理監督者として道義的責任を感じて責任を取らうとする市長・副市長の姿勢を尊重したい」という声がありました。一方で、「かえって職員が萎縮する」「勤務時間外の実行に對し、管理監督まで責任が及ぶのか」「手順的に再発防止や組織改善について議会と協議するべき」などの声もあり、賛否が拮

抗する中、賛成多数で可決しました。

釜石市議会では、本会議等のライブ配信及び録画配信を行っております。



検索

釜石市議会 youtube

釜石市議会
ホームページ
はこちら→



議 決 議 案

6月定例会

議案番号	議 案 名	審議結果	
請願第1号	子どもに寄り添う時間を確保するための、2027年度政府予算に係る意見書採択に関する請願書	採択	多数
報告第1号	令和7年度釜石市一般会計繰越明許費の報告について		
報告第2号	令和7年度釜石市水道事業会計予算繰越の報告について		
報告第3号	令和7年度釜石市公共下水道事業会計予算繰越の報告について		
報告第4号	令和7年度釜石市一般会計事故繰越しの報告について		
議案第55号	釜石市市税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	承認	全員
議案第56号	釜石市特定復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	承認	全員
議案第57号	釜石市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	承認	全員
議案第58号	釜石市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	承認	全員
議案第59号	令和7年度釜石市一般会計補正予算（第10号）の専決処分に関し承認を求めることについて	承認	全員
議案第60号	釜石市福祉事務所設置条例等の一部を改正する条例	可決	全員
議案第61号	釜石市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	多数
議案第62号	釜石市市税条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第63号	釜石市印鑑条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第64号	釜石市介護保険条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第65号	釜石市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第66号	釜石市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第67号	釜石市立小中学校の設置に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第68号	釜石市教育研究所設置条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第69号	令和8年度釜石市一般会計補正予算（第1号）	可決	全員
議案第70号	釜石市新市庁舎建設（電気設備）工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについて	可決	全員
議案第71号	釜石大槌地区行政事務組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて	可決	全員
議案第72号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画を策定することに関し議決を求めることについて	可決	全員
委員会提出 議案第1号	子どもに寄り添う時間を確保するための、2027年度政府予算に係る意見書の提出について	可決	多数

議案の賛否（○は賛成、×は反対、一は棄権、休は休み。議長は参加いたしません）

	深澤	佐藤	井筒	菊地	村田	工藤	遠藤	三浦	磯崎	古川	野田	佐々木	高橋	菊池	細田	山崎	佐々木	千葉	賛成	反対
請願第1号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×		13	4
議案第61号	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○		9	8
委員会提出 議案第1号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×		13	4

一 般 質 問

一般質問は6月23日、24日、25日の3日間行われ、11人の議員が登壇しました。
質問と答弁の要旨を掲載します。（文責は質問議員）

三浦一泰議員	①地域防災について②教職員の働き方改革について③釜石市役所内の働き方改革について
山崎長栄議員	①ナフサ危機について②健康福祉行政について③防災行政について
高橋松一議員	①第六次釜石市総合計画後期基本計画について②少子化と人口減少対策について③防災対策について
佐々木聡議員	①市内公共施設の効果と課題について②釜石市役所庁舎について③釜石市の職員数と窓口受付時間について④学校における校外活動の安全確保の徹底等について
磯崎翔太議員	①第4次釜石市障がい者福祉計画について②行政機関や関係団体等の情報リテラシーについて③義務教育下における生成AIとSNSの活用について
野田忠幸議員	①空き家対策について②第六次釜石市総合計画後期基本計画について③プレミアム付き地域商品券（かまいしエール券）について
佐藤憲弘議員	①観光政策と定住促進について②入札・契約制度の運用について
細田孝子議員	①行政サービスの提供について②安心して子供を産み育てられる環境整備について③障がい福祉行政について④教育行政について
古川愛明議員	①危機管理行政について②市民生活行政について
村田信之議員	①地域力について②こども食堂について③地域コミュニティについて
深澤秋子議員	①物価高騰について②教育行政について③保健福祉行政について

民有地を通る避難道の整備は 所有者に理解いただくよう協力したい



三浦 一 泰
(民政クラブ)



議員 嬉石漁港利用者から、津波襲来時に近くの階段から避難場所の白山小学校へ避難したいとの声があるが、市の考えは。

防災危機管理課長 避難経路の重要さを町内会で共有した上で、民有地所有者にも使わせていただくよう市も協力したい。

議員 避難所へ備蓄用個人ロッカー設置の考えは。
防災危機管理課長 個人の備品は、備蓄倉庫の空きスペースがあれば、町内会と協議し使い方を考えたい。

議員 教職員の就業時間、外前後の勤務、昼休憩状況、持帰り残業を正確に把握すべきでは。

学校教育課長 校務支援システムによる勤務管理を教職員一人一人に徹底していただくことや、校内労働安全衛生委員会で話し合う機

会を設定したい。

議員 教職員の年度初めは、新しい学校作りや子どもたちの信頼関係を築く重要な時期であるが、ICT関連業務に多くの時間を割かざるを得ない状況は課題ではないか。

学校教育課長 ICT支援員が初期設定を行い、事前準備を可能な限り教育委員会側で行うなど、教職員の負担軽減を図っていく。

議員 釜石市職員が生き生きと業務精励できる環境整備の考えは。

総務課長 ハラスメントに関するアンケートや相談体制の在り方を整理し、実効性のある対策につなげたい。



嬉石漁港近くの避難道入口

ナフサ危機の影響と考えられる支援は 需給の偏りや目詰まりの解消だ



山崎 長 栄
(公明党)



議員 ナフサの供給不安が続いている。我が国は約4割を中東から、約2割を他地域から輸入し、残り4割の国産分も元となる原料は、中東からの輸入に頼っている。今、多方面において製品の品薄、値上げが相次いでいることも伝えられている。この状況が長引くと市経済に及ぼす影響も少なからず危惧されるが、考えられる支援策は。

の声が寄せられており、ナフサの価格上昇による資材価格の高騰と、供給の偏りや流通の目詰まりが、企業経営を圧迫しているものと捉えている。資材価格の高騰や、事業活動に欠かせない資材の供給不安が長期化し、悪化した場合は、市内経済を支える事業者の事業縮小や休業につながり、雇用を始めとした地域経済活動に大きな影響を及ぼす可能性があるものと認識している。これらの影響は、全国のあるゆる業種において発生しており、国は、関係省庁が事業者直接向アプローチし、需給の偏りや目詰まりの解消を図っている。



ナフサの影響を受ける建設業

歴史・文化の伝承郷土愛が不足では 海山川を活かす施策を子どもたちに



高橋 松 一
(令和クラブ)



議員 まちづくりに重要な歴史・文化・郷土芸能の伝承、郷土愛が不足では。
総務企画部長 海・山・川の自然環境は市政運営・まちづくり全般に貴重な資源。自然環境全般、子どもたちに多様な自然体験の機会づくりを実施。海の分野では根浜海水浴場のイベントに加え、自然体験プログラムとして、漁船を活用した漁業体験や、三陸ジオパークにおけるシュノーケリングやシーカヤック、御箱崎千畳敷でのトレッキングなど多様なメニューを展開。つながり人口の拡大や観光振興に寄与していると認識。山の分野では釜石まんぷくフェスにおける親子木工教室の実施、五葉山登山、みちのく潮風トレイルのイベントなど、森林に親しむ機会の創出にも取り組んでいる。

る。川の分野ではホタル観察会の開催やアユ・ヤマメの稚魚放流などの活動を継続実施、身近な自然環境を大切にする心を育む機会とする。

このような河川環境の保全活動、県内外から釣り人が訪れるなど、交流人口の拡大にもつながっている。海・山・川を活かした取組により、子育てや教育に加え、観光を通じた産業振興などに効果を発揮。当市、昭和30年に隣接する4村が合併。今の市域が形成、この経過の中で育まれてきた各地域の資源・特性を活かすこと、持続可能なまちづくりのため重要との認識。



私たちのまちの紹介

市役所新庁舎開庁に伴うメリットは 手続が1カ所で完結できる



佐々木 聡
(至誠の会)



議員 現在、市庁舎は第1庁舎から第5庁舎と大渡町の保健福祉センター内、鈴子町のシープラザ釜石内、嬉石町の市民交流センター内にあるが、新庁舎開庁に伴い、どこまで行政機能が集約されるのか。また、そのメリットは何か。

市長 これまで当市では、行政機能が分散していたことで、市民の皆様が複数の庁舎を移動しながら手続を行う必要があり、ご不便をかけてきた。新市庁舎では、これらの機能を集約

することで、各種手続が1カ所で完結できるワンストップサービスが可能となり、市民の皆様の利便性の向上が図られる。また、来庁の際、駐車場の利用環境の改善に加え、バス停を敷地内へ移設することで、公共交通との接続が向上し、



利便性の向上が期待される窓口

より利用しやすい庁舎となる。さらに、庁舎内の窓口配置や動線を分かりやすくすることで、来庁された方が迷うことなく手続を行える環境を整備している。施設面では、エレベーターや多目的トイレの設置、段差の解消、案内表示の充実など、ユニバーサルデザインを考え方を取り入れ、誰もが安心して利用できる環境を整備している。あわせて、市産木材の活用などで、地域性や温かみを感じられる空間づくりに努めるとともに、交流スペース「みんなのホール」や相談室の充実で、市民が気軽に利用できる開かれた庁舎とした。

障がい者福祉計画における人材確保は 基盤は行政が、地域には補完を期待



磯崎 翔太
(創政会)



議員 第4次障がい者福祉計画において、福祉に従事する人材は十分に確保できるか。

市長 今後の人口構造や労働力の状況を踏まえれば、必要な人材が十分に確保できるとは考えてない。基盤となる部分は引き続き行政が、地域の皆様には日常生活の延長線上にある取組を補完的に担ってほしい。

議員 委託先との契約において、個人情報取扱いについてどのような合意がされているか。

総務企画部長 釜石市の保有する個人情報等の適切な管理のための措置に関する規定に基づき運用をしている。外部委託する場合、個人情報取扱いの適切な管理を行う能力を有する者を選定する旨などを規定している。また、委託先の責務を明確に



誰もが暮らしやすい
障がい福祉計画に

規定した特記事項を契約時に添付している。

議員 義務教育下にある児童のSNS利用についてどのような指導が行われているか。また、利用の是非については。

教育長 個人情報や、プライバシー、肖像権の保護や人権などについて指導を行っている。家庭の協力も必要のため、参観日に合わせて情報モラルについて親子で学ぶ機会を設けている。今後も連携しながら取り組みが、誰でも加害者や被害者となってしまうため、国として一定の制限を設けることも必要であると考えている。

観光振興政策で差別化を図ってきたか 歴史・経験の全体で差別化と捉えた



野田 忠 幸
(21世紀の会)



議員 観光振興において、近代製鉄発祥の地釜石が有する唯一無二の「鉄の歴史」にフォーカスした差別化が必要ではないのか。

産業振興部長 鉄を中心とした産業・文化、東日本大震災からの復興等を経験した釜石全体をもって差別化と考えてきた。近代製鉄発祥の地としての歴史・文化は釜石の貴重な資源であり、一度訪れてみたい土地となるようその情報発信に重点的に取り組みたい。

議員 プレミアム付き商品券は年金受給者が購入し難い期日に販売することが続いているがどうしてか。

産業振興部長 本事業は国の交付金と市の一般財源を充てるのでその予算化のタイミング等を総合的に判断し、地域経済の活性化及び市民生活への支援という事

業効果の早期実現を図るための販売日設定だった。第8弾の追加販売は年金受給者等の生活実態を考慮し8月21日を予定している。

議員 空き家を除去後5年間は固定資産税をそれまでと同程度になるよう減免するとなつたが、適用を受けるに当たり注意点は。

総務企画部長 事前相談を要件とする。減免措置の対象要件を事前確認し、事後の不利益や手続きの遅延を防止するため、また、除去後では現地の状況確認が困難となる場合があるためだ。事前確認には一定の期間を要するので余裕をもって相談してほしい。



第8弾かまいしエール券

目指すまちづくりは 訪れる人にも住む人にも選ばれるまち



佐藤 憲 弘
(民政クラブ)



議員 市長は観光政策を人口減少対策の中でどのように位置づけ、どのようなまちづくりを目指す考えか。

市長 住む人と訪れる人をつなぐ重要な役割を担うものと位置づけ、交流人口の拡大から関係人口の創出、さらには定住へとつながる好循環を生み出すことで、「訪れる人にも、住む人にも選ばれるまち釜石」の実現に向け、取り組む。

議員 関係人口を創出する際の課題は。

総務企画部長 当市を訪れた方が一度の観光で終わらず、再訪・リピーター化、さらには継続的な関わりを持つ「関係人口」。この局面での課題は、再訪したくなる、あるいは継続的に関わりたくなるような魅力的なプログラムや地域住民との交流の場を提供できてい

るかという点。「来てもらう」施策、体験プログラムやワーケーションなどのコンテンツを強化、移住検討者に、暮らしと魅力を体験していただく、暮らしお試し移住パックを提供している。

議員 公共工事の予算は税金。競争性の確保も重要だがそれ以上に公共事業による資金が地域内で循環し、雇用や技術の維持につながることも重要だ。当局は公共調達を地域経済政策の一つとして捉え、市内事業者への優先発注を今後も維持・強化していく考えか。

財政課長 市内事業者の発注については、優先制度を引き続き進める。



御箱崎の千畳敷



日常生活用具給付事業

保健福祉部長 業者への調

議員 支援用具の値上が

基準額の見直しを急ぐべきではないのか。

ては上げる必要があ

いては明確にでき

[illegible]

市民生活部長 東北復興ラ

議員
釜石市ラクビー協

等と連携し、さらに盛り上げることでできると考えるが。

市民生活部長 実行委員会は、岩手県及び釜石ラクリー協会、各校監督を中心とした幹事が担っている。これまで4年間で延べ65チーム、約2100人の高校生が参加する全国有数規模の交流事業に発展している。また、防災学習の一環として高校生による語り部の講話や、震災伝承施設の見学が実施されている。今後も、実行委員会、地域の方々と協力し、受入体制の充実に努めていく。



東北復興高校ラグビー交流会

こども食堂をどう評価するか 地域の絆を育むセーフティーネット



村田 信之



議員 市内各地区で取り組まれているこども食堂の活動を、市はどのように評価しているのか。

保健福祉部長 市内で実施されているこども食堂は、単なる食事の提供の場ではなく、子どもたちが安心して過ごせる居場所であり、地域住民との交流を通じて顔の見える関係を育む場であると認識している。また、地域住民や高齢者の活躍の場となるなど、多世代交流の拠点としても重要な役割を担っている。

こども食堂の活動が広がることで、豊かな食体験や健康づくり、安心できる居場所の提供、子育て世帯への支援、さらには世代を超えた地域コミュニティの活性化につながるものと期待している。



みんなが力を合わせて綱引き
平田「にこにこ食堂」にて

現在、市内各地区で実施されているこども食堂は、それぞれの地域の特色を生かしながら、栄養バランスに配慮した食事を無料または低額で提供している。さらに、ゲームや運動、歌や踊りなどを取り入れ、子どもとその保護者、高齢者まで、すべての参加者が楽しめる多世代交流の場となっている。

こうした地域の活性化に寄与するだけでなく、この活動によって構築された地域住民の関係性が地域のセーフティーネットとして機能するなど、大きな意義を持つ取組であると高く評価している。

不登校生の給食費無償化への対応は 給食費相当額の支援を行う方向で検討



深澤 秋子



議員 文部科学省の給食費負担軽減交付金は、「在籍児童数」に基づいて支給されるため不登校の児童生徒も対象であるとしているが、当市の対応は。

教育部長 現在、県内自治体の取組状況や制度設計等について情報収集を行っている。当市としては、不登校などの事情により給食停止の意思表示があり恒常的に給食を喫食していない児童生徒の保護者に対し、給食費相当額の支援を行う方向で検討を進めている。

議員 クマの出没が6月に入って連日報告され、その中には釜石中学校付近や上中島バス停付近など児童生徒が登下校する通学路になっている場所も含まれている。登下校の安全確保は。

教育部長 市教育委員会作成「クマ出没対応マニュアル」のもと安全指導等を継続的に行い、児童生徒の安全確保に取り組んでいる。また今年度の新たな取組として、スクールバスの弾力的な運用により安全確保を図ることを念頭に、空席がある場合に、遠方から徒歩で通学している児童生徒を優先させながら、可能な限りスクールバスに乗り込めるよう7月1日からの運用目指し準備を進めている。さらに児童生徒へのクマ鈴の配布も検討しており、小学3年生までの配布準備を進めている。今後、中学3年生までの配布についても検討している。



教育委員会

議案審議

議案審議の
動画はこちら



釜石市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

問 職員が他人の自転車

を窃取して、酒気帯び運転をしたことを強く受け止めたことが提案理由だが、職員のプライベートの時間である。過去に監督責任者である市長、副市長が責任をとったことがあるか。

答 過去に職員のプライベートの関係で、責任をとったといった認識はない。

釜石市印鑑条例の一部を改正する条例

問 条例の改正内容について伺う。

答 主な改正は、在留カード及び特別永住者証明書とマイナンバーカードの一体化を可能とする

もの。法改正に合わせて、今後は印鑑登録証明の申請が、在留カード等でも申請できるようになる。

問 改正の対象となる在留者等の数とマイナンバーカードの保有率は。

答 対象となる在留者、永住者数は合わせて477人で、マイナンバーカード保有者は342人、率は71・7%である。

令和8年度釜石市一般会計補正予算

問 四季彩イベント開催事業について、船の復元性検査は10月の釜石まつり開催に間に合うか。

答 復元性検査は9月上旬までに完了予定で、開催期日には十分間に合う。海事コンサルタントへの委託により船の図面作成や検査立ち会いを進め、安

全確保に加え曳き船祭り本来の姿を取り戻し、地域一丸となって観光誘致とにぎわい創出を図りたい。

請願

請願の
動画はこちら



民生常任委員会

請願第1号 子どもに寄り添う時間を確保するための、2027年度府予算に係る意見書採択に関する請願書

審査の経過・結果

本請願の趣旨は、小中学生を取り巻く課題が多様化・深刻化する中、不登校児童生徒数の増加や教職員不足、教職志望者の減少等により、子ども一人一人に

丁寧に向き合う時間の確保が難しくなっているとして、国に意見書を提出していただきたいとするものです。委員会では、教職員をめぐる環境は引き続き厳しい状況にあることや、支援員は教員が担う授業や学級経営そのものを代替できるものではなく、教員の負担軽減にはなお課題が残ることを確認しました。また、

請願内容は本市の教育環境とも関わる問題として受け止められました。委員会での採決の結果、本請願は全会一致で採択すべきものと決しました。

起立多数で採択

討論

至誠の会は、以下の理由で本請願に反対します。

教育現場が様々な課題に直面しているとの問題意識は共有しますが、学級編制標準の引き下げなど教職員数の増加を中心とした解決

策には賛同できません。

学校現場の課題は複雑であり、教員数の増加のみで解決できるものではありません。教育政策は教員数の増減ではなく、子どもの学びの質の向上という視点で評価すべきです。そのため、人員拡充に先立ち、校務DXや専門人材との役割分担による業務改革を優先するとともに、現在進められている35人学級の効果を十分に検証すべきと考えます。請願内容の多くは令和6年12月に釜石市議会が可決した意見書と重複しています。

議会だよりでは随時
表紙写真を募集中です。

★応募先
gikaijimu@city.kamaishi.iwate.jp
(#を@に)

応募要項と
詳細は→



議会改革特別委員会

現在、釜石市議会では議会改革特別委員会において、議員報酬のあり方について協議を重ねています。

○議員報酬を見直す理由

議員の報酬は、平成16年に1万8000円を減額し月額31万3000円（正副議長以外の議員）として以来、22年間にわたり改定されていません。その間、物価の上昇や最低賃金の引上げなど、社会経済情勢は大きく変化しています。また議員定数は、平成16年の26人から現在の18人に、8人を減らしています。

多様な住民が住みやすい地域にするためには、世代、性別、家族構成、職業、政党など多様な属性や考えを持つ議員が議会を構成し、市政に声を届ける必要があります。しかし議員には年金や退職金がないため、特に若い世代がチャレンジしにくい現状があります。今

後の議会活動を担う人材の確保や、多様な方々が議員を目指しやすい環境づくりも重要な課題であることから、議会改革特別委員会が議員報酬の見直しについて検討しています。

○目指す月額報酬

報酬の検討に当たっては、現状維持を主張する議員もいますが、増額すべきとの意見が多数であることから、増額要望することから、議会改革特別委員会の結論としています。

金額は、現在の報酬額が設定された平成16年度当時の市職員の給与（1号級）と、令和7年までの給与決定率を参考に、1・31倍の上昇率とすべきとの結論に至りました。この考えに基づき、議会改革特別委員会として月額議員報酬を41万円とする要望を行うことを協議しています。（議員報酬は議員報酬等審議会が審議されますので、議員だけで決めることはできません。）

せん。）

○ご意見をお寄せください

議員報酬や議員定数は市民の皆様に関わる重要な事項であることから、広く市民の皆様のご意見を伺いたいと考えています。

左記QRコードからアンケートにぜひご協力をお願いします。なお、アンケート用紙は議会事務局及び各地区生活応援センターにも設置しております。

皆様の率直なご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

アンケートはこちら→



常任委員会活動報告

総務常任委員会

本市では人口減少に伴う職員数の縮減が見込まれ、身近な市民サービスの維持が課題となっています。委員会では5月に当局とDXの取組について意見交換を行い、オンライン申請や生成AIの活用などにより、便利で質の高いサービスを継続するとともに、創出した時間を市民に寄り添う取組へ充てる方向性を共有しました。今後は市内8地区の生活応援センターを訪問し、現場の声を伺いながら地域に寄り添う行政の在り方を検討していきます。

民生常任委員会

民生常任委員会では、学校給食に関する政策提言に向けた調査を進めています。7月6日、教育委員会と学校給食センターを委員会へお招きし、学校給食のおいしさや残食率の改善、地域との連携などについてヒアリングを行いました。学校給食は、子どもたちの成長を支えるだけでなく、食育や地域とのつながりを育む大切な役割も担っています。委員会では、こうした現状や課題を踏まえ、学校給食を核とした政策提言を取りまとめる予定です。

経済常任委員会

経済常任委員会は、2月17日に岩手県建設業協会釜石支部と当局幹部職員同席の下で意見交換会を実施。建設業を取巻く課題や今後の公共事業のあり方、インフラの維持管理、地元事業者活用について意見が交わされました。復興事業が完遂し、公共工事が減少していること、資材高騰や若手人材の不足が深刻な課題であることを改めて共有。今後も定期的な意見交換を通じ、地域のインフラ維持や建設業の持続可能性を確保する必要性を改めて確認しました。

大槌町林野火災における釜石市消防団の活動

令和8年4月22日、大槌町小槌地区において林野火災が発生し、13時53分に消防へ通報が入りました。これを受け、釜石大槌地区行政事務組合大槌消防署及び大槌町消防団が出動し、小槌地区で消火活動に当たりました。

同日16時28分には、大槌町吉里吉里地区においても林野火災が発生しました。

釜石大槌地区行政事務組合釜石消防署と釜石市消防団第6分団・第7分団が出動し、吉里吉里地区での消火活動を実施しました。出動した消防団員は、消防団本部6名、第6分団59名、第7分団22名で、消防車両13台が投入されました。消防団員は夜を徹して消火活動に当たり、延焼防止に尽力しました。

しかし、火災現場では防火水槽の貯水量が不足する状況となりました。また、

消防団には背負式散水装置が十分に配備されていないため、団員は唐鍬（とうくわ）を用いて火をたたくななどの地道な消火活動を行いました。

翌4月23日には、消防団本部7名、第1分団1名、第4分団8名、第5分団8名が出動し、消防車両5台とともに午前5時から午後5時まで消火活動を継続しました。平日であったことから、活動は参加可能な団員によって行われました。

その後、遠野市、宮古市、大船渡市からの応援部隊が早期に到着したことにより、市消防団による大規模な消火活動は4月22日と23日の2日間で終了しました。

5月2日午後1時には鎮圧宣言が発表され、火災は沈静化しました。しかし、5月6日には大槌町城山地区で再び林野火災が発生

し、13時25分に消防へ通報が入りました。

今回の一連の林野火災において、消防団員は限られた装備と水利条件の中で昼夜を問わず消火活動に従事し、地域の安全確保のために大きな役割を果たしました。特に、厳しい環境下においても地域を守るために懸命な活動が続けた消防団員の献身は、高く評価されるべきものです。



現地指揮本部に集合した釜石市消防団

議員表彰

全国市議会議長会第102回定期総会において、議員在職10年以上の表彰を受けた議員に対し、表彰状と記念章の伝達を行いました。



千葉 榮 議員



佐々木 聡 議員

学校給食完全無償化に

ついに、今年度から小学校・中学校の給食が無償化となりました。これまで保護者の皆さんから、給食費が高く特に複数の児童生徒をかかえる子育て世帯の負担は大きいという声に応え、議会では数年前から取り上げてきた経過があります。

全国的に無償化の自治体が増える中で国は、4月から小学校のみ無償化とする方針を打ち出しました。それに加えて本市では、独自に中学校への無償化も同時に行い子育て支援の充実を図ることとしました。

無償化となった学校給食について保護者の声は「ありがたい」「家では作ることもない献立が嬉しい」「子どもからは、おいしいと聞いている」「無償化となつて質が落ちないか不安もある」などが聞かれました。食材の高騰に追い打ちを

かけるかのような中東情勢の不安の中で、給食センターの職員は、「これまで通り献立に工夫を凝らし、質や栄養バランスを維持し、充実させていく。今後は、さらにリクエスト給食を増やしたい」「試食会を増やし地域からも受け入れたい」等、学校給食は、おいしいということを皆さんに知っていただきたいと語っていました。

子どもたちの声は、「カレーがおいしい」「スープがおいしい」「イカの照り焼きが1番好き」等、誰もが「おいしい」との感想が聞かれました。

学校給食は、単なる「お昼ごはん」ではなく心身の健全な育成や食を学ぶための「大切な教育」であります。また、栄養バランスの取れた食事の提供と生涯にわたる健康的な食習慣を身

につけるための「食育」の推進を目的とする学校給食法に基づいています。

給食無償化は、教育政策であると同時に、子どもの貧困対策や少子化対策を含む福祉政策でもあります。子どもたちの教育と成長を支える環境は全国どこでも保障されるべきであり、中学校についても国による制度化が早急に求められています。

段階的な無償化への経過

令和4年	年間1億円必要、財政上困難と答弁（12月定例会）
令和5年	第3子以降無償化
令和7年	第2子以降無償化
令和8年	小中学生の完全無償化達成



給食の調理作業中

陳情

■ 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情書

■ mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書

報告

※本会議において報告し、出席した議員、職員に陳情の要旨を記載した文書表を配付しました。

あじあ

▼今回号から議会だよりをリニューアルしました。議会だより編集特別委員会では、より多くの市民の皆様の手にとっていただき、議会を身近に感じてもらえる紙面を目指して議論を重ねてきました。その結果、地域で活躍する団体の取組や、子育て世代の声を紹介する特集を新たに掲載しています。今後も市民参加の議会だよりを目指し、より親しまれる紙面づくりに努めてまいります。

（井筒 記）

委員長 佐々木 義昭	委員長 佐藤 憲弘	委員 井筒 健太郎	委員 村田 信之	委員 工藤 聡一郎	委員 高橋 孝一	委員 細田 孝子
------------	-----------	-----------	----------	-----------	----------	----------

日帰り・宿泊産後ケア事業（全てホッとカード使用可）

釜石市では、産後1年未満の母親を対象に、日帰り型と宿泊型の産後ケア事業を実施しています。助産師等が赤ちゃんを預かる間、お母さんは心身を休めながら、育児相談や体調管理などの支援を受けることができます。

委員会では、日帰り産後ケア「まんまるぎゅっと」を訪問し、利用者や運営団体まんなまるママいわての皆さんからお話を伺いました。利用者からは「安心して利用できた」「また利用したい」との高い評価が寄せられ、ホッとカードが利用できる点も好評でした。一方で、生後5カ月以降の子どもも対象にしてほしいとの要望がありました。発達段階に応じた人員やスペースの確保が課題とのことでした。

また、事業を継続・充実させるためには、恒久的な施設の確保も必要との意見をいただきました。

市議会では、産後ケアの充実を取り上げていきます。



エンジェルスマイルのとうり君(生後4カ月)



並んでお昼寝のになちゃん、ひなちゃん(生後2カ月)

〇まんまるぎゅっと（釜石復興ビル）

対象：生後0～4カ月の赤ちゃん和妈妈

開催：毎月2回水曜日（各回3組限定）

時間：10時から16時まで

料金：900円（ホッとカード使用で無料）

〇支援内容

母乳ケア／沐浴／ママの入浴（ビル内の大浴室の利用可）／ミルク、母乳量の相談／アロママッサージの提供／他のママとの交流／ほか

大きなお風呂に手足を伸ばして入れてリラックスできた

助産師に直接相談でき安心した

利用者の声

このような場所があったよかった

ホッとカードが使えてよかった

オムツやミルク等の提供もあり荷物が少なくすんだ

〇県立釜石病院産後ケア事業（県立釜石病院3階 産後ケアルーム）

	デイケア型	宿泊型
対象	1歳未満	4カ月未満
開催	毎週月・火・木（第3以外） 1日1組	第3木曜日 1日1組
時間	10時から16時まで	10時から翌日9時まで
料金	730円（ホッとカード使用で無料）	2190円（ホッとカード使用で無料）
回数	通算7回まで（宿泊型は1回2日分とカウントする）	

〇支援内容

母子の健康チェック／授乳・沐浴指導／乳房ケア／赤ちゃんの食事や発育相談／管理栄養士による離乳食相談（要予約）／理学療法士による産後の身体づくり相談（要予約）